

第6期 第18回団体活動運営協議会 市民参加部活動報告書

	令和4年度	令和5年度											令和6年度					
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月		
会議日程	部会開催日	3月22日	4月20日	5月7日	5月11日	6月8日	7月13日	8月10日	9月14日	9/17 講演会	10月12日	11月9日	11/19 講演会	12月14日	1月11日			
	運営協議会開催日	全体会		ワークショップ														
1. センターイメージチェンジ事業													企画概要検討	講師、企業との打ち合わせ	募集開始	ワークショップ準備	2024GW終盤	
ウィッシュツリー制作		募集開始	ワークショップ準備	5月7日	制作物の展示			制作物の撤去										
月替わりパネル展示		展示団体募集	抽選・連絡	6月展示	7月展示	8月展示	9月展示	10月展示	11月展示	次年度公募企画検討	募集要項確定	出展団体募集開始	出展団体選定	展示決定団体通知	5月展示			
2. 市民交流参加事業																		
市民団体					企画概要検討	企画紹介	8/1 担当団体公募	担当団体決定・広報原稿作成		10/1 公募開始	市民公募講演会	次年度公募企画検討	日程および募集要項検討			企画PR・チラシ作成		
企業					日程・内容検討													
学術					企画の概要決定	広報原稿作成			8/15 募集開始	講演準備	9月17日		次年度公募企画検討	日程および募集要項検討				
はじめの一歩												企画提案	内容検討	広報原稿作成・PRチラシ作成	参加者募集		第1回講演	
「今回の検討課題」													「前回の検討結果」					
1 議題 1 議題 議題1 現在進行中の事業の進捗状況について 1. センターイメージチェンジ事業 企業パネル(千葉 JETS と IKEA)の展示場所・展示期間について 議題2 今後の事業の準備スケジュールについて 1. センターイメージチェンジ事業 2024年度パネル展示募集要項を確認→2月から募集開始 2. 市民交流参加事業 藤井先生の講演会について(谷合委員) 2024年度分 公募型交流会について 202411市民団体ワークショップ企画募集要項ver2確認 公募企画の回数を増やすことも検討するか? 市民活動はじめの一歩ワークショップ(南山委員) その他の交流会 GW 親子ワークショップ企画をシモジマにお願い出来ないか検討 藤井先生の講演会の扱いについて 以上													1 報告 1-1 「カタカナから見える英語の世界」2023/9/17講演会 実施報告書 全体会での報告をイメージして、配布資料に基づいて依田委員から報告があった。議論の中で一部修正の上、全体会では修正版を配布する。 1-2 2023年度市民交流参加事業 アンケート集計結果 全体会での報告をイメージして、配布資料に基づいて小山主事から報告があった。 2 協議事項 2-1 2023年度事業について 1. センターイメージチェンジ事業 企業パネルの展示期間について議論し、最大2ヵ月まで展示することになった。 市民活動フェアに出展していただいた企業パネルの中で、市民活動フェアから展示された千葉 JETS と IKEA のパネルについてはこれから2ヵ月程度展示することとした。 2. 市民交流参加事業 柴田さんから藤井先生(商薬物処理関係)・シモジマ(包装資材会社・ワークショップ可能)の講演会準備状況が報告された。現在の所、十分な準備期間が取れないこともあり、交渉が中断してしまっている。ご自身のお仕事も忙しくなっているので、他の担当者に準備を引き継ぎたいとの申し出があった。協議の結果、打ち合わせの窓口は谷合が引き継ぐこととなった。 2-2 2024年度事業について 1. センターイメージチェンジ事業 市民団体パネル展・企業CSR活動パネル展の募集要項について 配布された2つの資料(2024年度市民活動団体パネル展示募集要項(案)、2024年度企業CSR活動紹介パネル展示募集要項(案))に基づいて2024年度パネル展示について、議論した。 チラシの写真の差し替えやパネル展の展示枚数や展示期間、展示決定時期などについて協議して、資料の修正版を作成した。 申し込み書については別用紙にすることが確認された。 2. 市民交流参加事業 2-1 公募型交流会について 配布資料に基づいて公募型講習企画について検討した。協議会として審査を行うことを考慮して、申し込み要件を緩和して、「市民活動している個人及び団体」という表現に修正した。 公募型交流会企画の応募企画の活用について 次年度についても公募型企画に応募していただいた企画については、関係者間で協議してサポートセンター以外の場所での実施について、検討することとなった。 市民団体企画公募日程 6月下旬 サポートセンター登録団体一斉配信メールで予告を配信。 7月1日~7月31日 電子申請システムで交流会担当団体募集 8月上旬 交流会担当団体選定 → 候補団体へのヒアリング → 担当団体決定 8月下旬 広報原稿確定 10月1日号 広報ふなばしで企画の参加者募集開始 11月上旬 参加者募集締め切り 11月16日(土)または17日(日) 講演会当日 2-2 一般市民向けの市民活動スタートアップ企画 南山さんから「市民活動はじめの一歩ワークショップ企画案」について協議した。これまで市民参加部会で対象としてきたよりも、さらに一般市民よりの企画になっている。敷居を低く、気軽に関われることを感じて、自分にもできる・やってみようという体験をしてもらうことを企画の目的にしたい。 他の交流会企画について					

第7回 全体会の協議内容

2023/12/21市民活動サポートセンター運営協議会  
市民参加部会質疑応答事項メモを要検討課題

<質疑応答事項メモ>  
企業のパネル応募について  
谷山さん：企業からの応募が振るわなかったということが、市と包括連携協定を結んでいる企業に案内はしているのか?  
南山：部会として協定先の企業全てに案内している認識はない。  
矢田さん：全協定企業への案内はしていないが、今回パネルを出すことになった4社は全て包括連携協定を締結している企業。市民活動フェアを通して案内した。  
谷山さん：以前、自治体と企業の包括連携協定に関する仕事をしていた。協定の内容にCSR活動を周知することが含まれているので、パネル展示を依頼した場合に断るという選択はしないはず。  
矢田さん：案内の出し方については次年度以降検討する。

西脇先生講演会の申し込み状況について  
谷山さん：広報ふなばし、しみんりょく、ちいき新聞とそれぞれ掲載のタイミングに開きがあるが、どのタイミングで案内を出すのが最も効果的なのか知りたい。  
依田さん：まず広報ふなばしで情報解禁という前提があるので・・・  
齊木さん：コー連携の事業に関して言うと、公民館に配架しているチラシが最も有効。

公募型市民交流参加事業について  
齊藤さん：とても良い企画だと思う。もっと回数を増やしてより多くの団体に機会を与えたら良いのではないかとと思うが、何かできない理由はあるのか?  
南山：特に理由はないが、他の事業との兼ね合いで今年度は1回の実施だった。  
齊藤さん：市民活動団体がPRする機会としてはパネル展示やちょっとしたプレゼンなどになってしまうことが多く、実際の事業を通して広く市民に参加してもらえれば良いと思う。また、報告中では言及しなかったが、次年度の公募型事業は応募要件に登録団体であることを入札に広く「市民活動をしている個人または団体」とした。船橋市内で活動している、という要件も、登録団体に他市町村の団体も含まれることと整合性が取れないので入れていない。審査において登録団体かどうかのエリアで活動しているか、ということを加味すれば良いのではないかと考えている。このことによって応募のハードルが下がり、より多くの団体や個人に応募してもらえれば良いと思う。  
齊藤さん：登録団体であることを要件にしても良いのでは? それで応募が少ないのであれば必ずしもということではないが、将来的には登録団体から応募がたかさんあのが理想では?  
南山：将来的にはそうだと思うが、現状では活動していない団体も多くある。この事業を通してセンターを知ってもらうという意味でも応募に制約は設けず審査段階で見ているのが良いと部会では考えた。  
矢田さん：前回の部会開催から1週間しか経たずに全体会を開催しているため、確認や連絡ができておらず申し込みにあつたが、応募の要件については議論の余地があると課では考える。市の税金を投入して行う事業である以上、審査は必須。  
南山：募集要項に抽選とあるのは誤植。当然審査は必須と考える。

協議会のHP作成について  
海老田さん：検討課題の中に協議会HPについて広報部会で検討、とあるが、広報部会では提案して運用面の課題などから却下された経緯がある。何か良いアイデアがあったら教えてほしい。  
南山：良いアイデアはない。  
柿崎さん：協議会の中では3年くらい前からHPを作ってはどうかという議論があるが、実際に作るのは簡単でも、2年任期で委員が入れ替わっていく中で誰がどのように運用するのかという課題が大きい。

はじめの一歩企画について  
柿崎さん：市民参加部会が発足した経緯は、コロナ禍で登録団体の利用率が下がったことを受けて広く一般市民に開かれたセンターにし、ひいては市民活動に興味をもってもらうことだと理解している。これまで市民参加部会が行ってきた事業はこの目的をある程度達成していると思うが、一方で公民館で行われているイベントとの違いが見えにくく、サポートセンターの独自性がもっとあつたら良いと感じていた。その意味でははじめの一歩企画はとも良いものだと思う。ぜひ実現してほしい。  
齊木さん：コー連携で事業をしても、ほぼ全ての参加者が70代以上で60代はとも若いね、という状況。若い世代を育てていくことがとても重要。協議会全体で応援していきましょう。

その他  
森さん：自治会活動は市民活動に含まれるのか? 自治会の中で何やりたい人もはじめの一歩WSの対象になるのか?  
矢田さん：市民活動の定義は広く、町会などの地域自治活動との明確な線引きはない。質問への答えで言えば、対象になる。

<要検討事項>  
・次年度公募型交流会の実施回数  
・次年度公募型交流会の応募要件  
・はじめの一歩企画の実施時期、建て付け  
※報告の前に、矢田さんと柿崎さんより①委員の改選の時期をまたくこと②単発×3にすると継続性が見えにくいくこと、の2つの理由により当初の計画通り3回連続企画にした方が良くと課内で話し合っている旨ご意見をいただきました。次回部会で再検討しましょう。  
※委員改選にあたっては毎回申し送りしているそうです。部会メンバーの大部分が再任したとしても、次期協議会で方向性や具体的な活動内容を決めるので、今期中に次年度のことを計画しても必ずしも実現できるわけではないこと。したがって、今期中に企画を練って次期への申し送り事項とし、次期中に連続で開催できるようにした方が協議会としてもスムーズだし、連続企画として見せた方が目的にかなっているのではないかと、のご意見でした。

前々回検討事項

1 議題  
市民活動フェア出展団体のパネル展示の準備が進められていることが確認された。また、既存の企業パネル(石井食品とクボタスピアーズ)については市民活動フェアまで、残る2団体の企業パネル(千葉 JETS と IKEA)については市民活動フェアから、その後1ヵ月程度の展示を依頼することも確認された。展示時や市民活動フェアの期間に企業の担当者に現場に来てもらい、他の企業パネルや市民団体のパネル展示の実物を見ていただく事を依頼することとなった。

2. 市民交流参加事業  
公募型交流会企画について進捗状況報告(小山主事)  
11月9日時点で28人からの参加申し込みがあった。  
市民団体企画公募日程  
6月30日サポートセンター登録団体一斉配信メールで予告を配信。  
7月1日~7月31日 電子申請システムで交流会担当団体募集  
8月上旬 交流会担当団体選定 → 候補団体へのヒアリング → 担当団体決定  
8月25日 広報原稿確定  
10月1日号 広報ふなばしで企画の参加者募集開始  
11月上旬 参加者募集締め切り  
11月19日 講演会当日

議題2 今後の事業の準備スケジュールについて  
1. センターイメージチェンジ事業  
市民団体パネル展・企業CSR活動パネル展の募集要項について  
配布された2つの資料(2024年度市民活動団体パネル展示募集要項(案)、2024年度企業CSR活動紹介パネル展示募集要項(案)、2024年度パネル展示申し込み書(案))に基づいて2024年度パネル展示について、議論した。

2. 市民交流参加事業  
2023年度分  
柴田さんから講演会の準備の最新状況が報告された。  
2024年度分  
公募型交流会について  
202411市民団体ワークショップ企画募集要項ver1に基づいて検討した。交流会の準備日程及び実施日について再検討することとなった。  
公募型交流会企画の応募企画の活用について  
次年度についても公募型企画に応募していただいた企画については、関係者間で協議してサポートセンター以外の場所での実施について、検討することとなった。  
一般市民向けの市民活動スタートアップ企画  
南山さんから配布された「市民活動スタートアップ応援企画」に基づいて、内容を協議した。これまで市民参加部会で対象としてきたよりも、さらに一般市民よりの企画になっている。次回部会で再度審議することとした。  
他の交流会企画について

